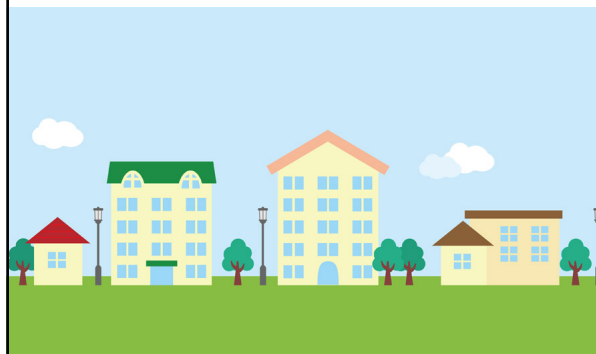


まちづくりへ関わる コミュニティセラピストとは

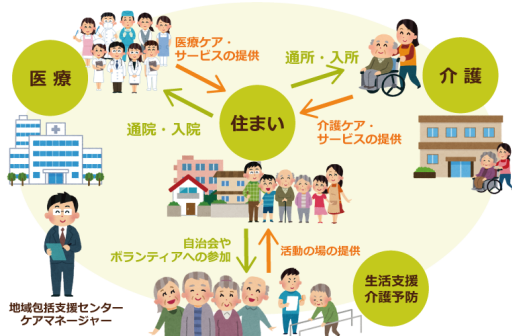


株式会社Think Life
理学療法士
片桐辰徳

まちづくり×リハビリテーション



地域包括ケアシステムのイメージ



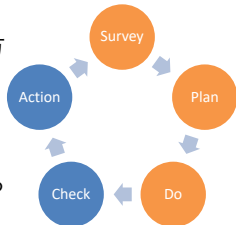
SDGs

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)

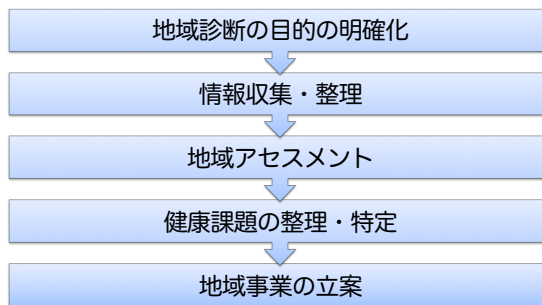


明日からまちづくりに参加するために

- 情報の集め方、分析の仕方
- 岐阜県可児での活動事例
- 自分の立ち位置を見極める
- 何をしたいかを明確化する
- 企画書・計画書の作成を試みる



地域診断手順



可児市の概要

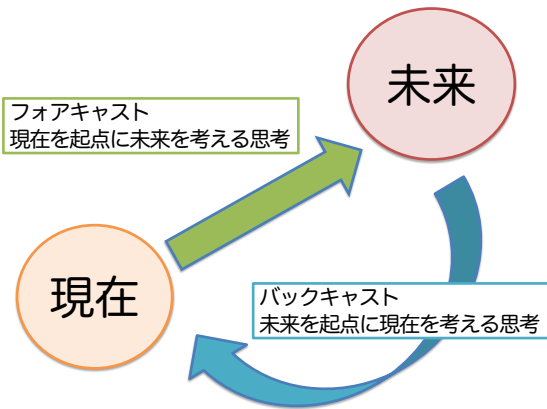
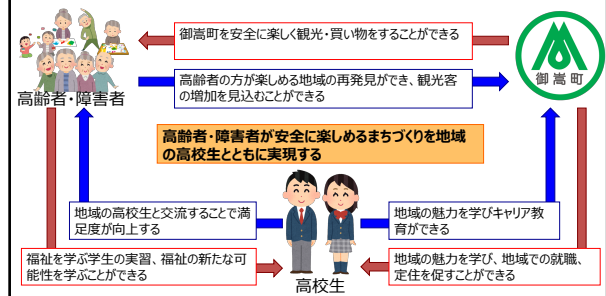
- ・ 高齢化率は平均より低く高齢者単身世帯は少ない
- ・ 地域ごとで人口偏在、高齢化の偏在が大きい
- ・ 今後急激に高齢化率の上昇、75歳以上の人口の増加により、要介護・要支援者が急増する 社会福祉
- ・ 人口流出が多く、人口減少が進んでいる 教育
- ・ 公共交通機関は整備が進んでいるが不十分 交通
- ・ 医療機関は豊富だが、開業医が多く、連係が不十分
- ・ 高齢者サロンの充実、買い物などの送迎活動や家事支援の要望が多い 物理環境
- ・ 心疾患の死亡率が圧倒的に高い
- ・ 介護の原因は脳卒中、認知症、衰弱、転倒の割合が高い
- ・ メタボ予備軍が多い 保健医療
- ・ 特定検診の受診率が少ない

問題点の整理

- ・ 社会福祉：高齢者の偏在、急増
- ・ 教育：人口流出・減少
- ・ 交通：公共交通機関、外出
- ・ 物理環境：地域の受け皿
- ・ 保健医療：運動習慣、健康意識

- ・ 高齢者の偏在、急増 → 高齢者サロンの有効活用
- ・ 人口流出・減少 → 子育て世代の支援、キャリア教育支援
- ・ 公共交通機関、外出 → 高齢者の外出支援、安心して外出できる場所の作り
- ・ 地域の受け皿 → 地域の受け皿の確保
- ・ 運動習慣、健康意識 → 健康や体について考える機会の提供

本プロジェクトで目指す形



企画書・計画書作成のポイント

- ・ 客観的データ、事実を示す
- ・ 相手のメリットを明確化する
- ・ 前例を示す（行政の場合特に）
- ・ 一つの課で完結させない（行政の場合特に）
- ・ 3パターンの案を作成する